



## 東北復興 PSW にゆうす

コロナ禍の中、全国大会が延期となり学術集会在 WEB 開催となりました。今号では、全国大会・学術集會会場で物販コーナーに商品をご提供いただく予定だった事業所の方々から、現在の状況等についてコメントをお寄せいただきました。足を運ぶ事は難しいかと思いますが、現地に思いを馳せてください。

(東日本大震災復興支援委員会一同)

### 特定非営利活動法人きらら女川 沼田 利恵

皆さま、こんにちは。NPO 法人きらら女川です。きらら女川は就労支援 B 型事業所でもあります。

2011 年の東日本大震災により、きらら女川は全て津波に流され、沢山の物を失いました。一時は途方に暮れ、希望を無くしてしまった私達。しかし、津波に流されたがれきの中から奇跡的にパンやかりんとうを捏ねるミキサーを発見。このままではいけないと私達は立ちあがります。皆さまをはじめとした全国からの温かいご支援があり、現在 20 名までになった障がいを持つ仲間達と職員が毎日元気に活動しております。

私達の主力商品は毎年、皆さまにお取り扱いして頂いている、国産小麦を使った「おからかりんとう」や「さんまパン」といったオリジナル製品。また、特許技術を用いた女川産さんまや三陸産わかめなどの水産加工など、皆で本当に頑張っていました。

ところが今回のコロナウイルス……。どこの会社、事業所さんも本当に大変な状況かと思えます。私達、きらら女川も同様でかりんとう等の発注も例年の 20% くらいしかいかない月もあり、働きたいという思いが強い仲間の皆さまの中にはこの状況に落ち込んでしまう方もいました。ですが、有り難いことに皆さまようにご支援を申し出て頂いた方々からの温かいご支援の声が上がっている事も確かです。私たちはどん底から這い上がってきたあの時の想いを強く思い、あらたに力を合わせ、頑張っていこうと思っております。皆さまからの応援を引き続きお願いいたします。



Check☞ ◆オンラインショップもやっています◆

### 社会福祉法人山元町社会福祉協議会 山元町共同作業所

(工地球村) 管理者 小泉 大輔

はじめに、新型コロナウイルス感染症への対応につきまして、医療・福祉・関連事業従事関係者の皆さまのご尽力に対して、心より感謝を申し上げます。

さて、宮城県山元町にあります工地球村も 2 年前に開設 20 周年を迎えました。これもひとえに皆さまのご支援とご協力のおかげでございます。2011 年 3 月 11 日に東日本大震災があり、町面積の 37% が浸水し、600 名を超える尊い命が失われましたが、日本全国、世界、そして関係者の皆さま、日本精神保健福祉士協会様の格別のご支援とご協力を頂き、現在も利用者、ボランティア、職員が元気に地域で感染症に気を付けて活動することができております！長年にわたり、日本精神保健福祉士協会の関係者様からの販売協力を頂きまして、利用者、ボランティア、職員一同やりがいを感じ、日々の活動を送ることができました。本当にありがとうございます。

世界全体では新型コロナウイルス感染症、日本では、台風・豪雨災害などのいろいろな社会的課題や災害等が発生しており、苦しい思いをされている方々がたくさんおられると思います。震災を経験し、当たり前の日常の尊さ、ありがたさに改めて気づき、多くの方の応援に励まされて前向きに生活を送れるようになった中、新しい生活様式を取り入れていく変化を求められ対応しています。日本全国、そして世界全体でこの困難を乗り越えて、多くの人が共に笑顔で日々を過ごせるようになることを切に願っております。

Check☞ ◆全国からの注文も可能です。詳しくは工地球村までお問い合わせを◆



「皆さまのご支援に感謝」



「全国の皆さまの応援のおかげで、元気になりました」

## 全国大会・学術集会(北海道大会)での東日本大震災・被災地障害者作業所等製品販売事業について

新型コロナウイルス感染拡大を防止する観点から2020年度に予定されていた第56回全国大会(北海道大会)が1年延期になりました。新型コロナウイルスの感染拡大が予断を許さない状況ですが、本委員会で取り組んできた物販の本質を改めて捉え直し、大会運営方針に従いながら、物販の在りようや方法を引き続き検討して参ります。

第56回全国大会・第20回学術集会開催に向け、佐々木全国大会・学術集会長からメッセージをお寄せいただきましたのでご紹介いたします。

また何らかの形で皆さまとお目に掛かり、交流できることを心より祈念いたしております。

(小淵 恵造(群馬県支部)／東日本大震災復興支援委員会委員)

### 「2021年全国大会・学術集会開催にむけて」

佐々木 寛

第56回全国大会・第20回学術集会 全国大会・学術集会長  
北海道支部長／北海道協会長

2020年9月、21年ぶりに北海道開催の予定でありました第56回(公社)日本精神保健福祉士協会全国大会が新型コロナウイルス感染症の世界的広がりを見せる状況の渦中に1年の延期が決定しました。その後、第19回日本精神保健福祉士学会学術集会はWEB開催となり、多くの皆さまからご尽力いただいたおかげで、無事終了いたしました。

ただ全国大会は1年延期後、可能な範囲で参集し北海道札幌で何とか皆さまにお会いできる機会があればと考えております。本来なら今年実施されれば作業所等の物品販売も考えていたものの、1年の延期後の大会は販売等事業もどのような状況になるかは未定です。できる限りの感染症対策もしっかり行いながら皆さまとの絆を確かめることができる、そんな1年後の全国大会・学術集会となればと願っております。多くの皆さまのご参加を北海道札幌でお待ちしております。

[日程] 2021年9月9日(木)プレ企画／10日(金)、11日(土)全国大会・学術集会  
[会場] 札幌コンベンションセンター(北海道札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1)他



### 東日本大震災復興支援委員会からのお知らせ

菅野 直樹(福島県支部)／東日本大震災復興支援委員会委員長

#### 「コロナ禍の中の復興支“縁”ツアー検討中」

東日本大震災から10年が経過します。しかし、コロナの流行と余波は予断を許しません。そのような中、毎年恒例だった復興支“縁”ツアーについて委員会で議論を交わしたところ、「震災に寄せる想いを交わす」「各県協会の現状を語らう、聴く」「懐かしい顔ぶれに会う機会を設ける」等の意見が寄せられました。

これを受け、例えばオンライン上でのツアー(勉強会等)が開催できないか検討中です。詳細は決まり次第、お伝えいたします。

#### 「リモート復興支援委員会始めました」

委員会は今年度から新たな任期がスタートとなりました。しかしながら、全国各地で新型コロナの感染が確認される中、これまで同様に県をまたいで移動し膝を突き合わせて会議をすることが適いません。そのため、今年度はリモート(オンライン)での委員会を開催しています。

馴れない作業ですが、これまで培ってきた関係性と一人ひとりの思いを重ねることによって、対面にも勝るとも劣らない活発な議論を交わしています。正直、不自由さもありますが、これも新しい生活様式。少しずつ適応できるように試行錯誤していきたいと思っております。

#### 【ご意見・ご感想をお寄せください】

本紙では被災した各地の仲間へのメッセージ及び被災地からの情報発信など、相互交流ができる紙面づくりを目指しております。全国どなたからのメッセージでも構いません。本紙へのご意見・ご感想も大歓迎です。それぞれのお立場からの声をお聞かせください。お寄せいただいたメッセージは、本紙面や本協会WEBサイトにてご紹介させていただきます(原則として投稿者氏名以外の個人情報掲載いたしません)。お届け先:FAXもしくはE-mail:office@japsw.or.jpにてお願いいたします。

★題名に「PSWにゆうすについて」とご記入ください。★

第49号 2020年11月15日発行

編集:東日本大震災復興支援委員会

発行:公益社団法人 日本精神保健福祉士協会

〒160-0015 東京都新宿区大京町23-3 四谷オーキッドビル7F TEL.03-5366-3152 FAX.03-5366-2993

★URL: <http://www.japsw.or.jp/>

★東日本大震災復興支援サイト <http://www.japsw.or.jp/ugoki/f-jyoho.html>

